

# カンボジアに文房具を

## カスタネット 回収の5万点発送

オフィス文具・家具販売の「カスタネット」(植木力社長、京都市南区)が、カンボジアの小

学校に寄贈するために、企業から回収を進めてきた鉛筆や消しゴムなど中古文房具が計五万点に達した。近く船便で発送す

る予定。二十二日には京都市立藤森中学校の一年生二十五人が「総合的な学習」の取り組みの一つとして、分別や包装などを手伝うという。

同社は半導体製造装置メーカーの「大日本スクリーン製造」(京都市上

京区)が設立した社内ベンチャー。植木社長も同社の元社員で、文房具の販売をしているうち、企業には多くの文房具類が使われず、机の引き出しなどにしまわれているこ

とに気づき、発展途上国の子供たちへの寄贈を思

い立った。昨年三月末からセールス先の企業に趣旨を説明。社内に放置されている文房具を集めてもら

い、回収を進めてきた。当初は昨年秋に五万点を集める計画だったが、カスタネットの子供たちが欲

しがっている鉛筆や消しゴム、ノート類が少なを延長して寄贈できる段「送り先はカンボジア・

カンダール州のプレックパイ小学校とその分校三校。カンボジアに小学校を寄付するボランティア活動を行っている佐藤敦子・アプサラ基金会代表幹事らの活動などを通じて選んだ。生徒数は約千五百人で、板とチョークで授業を受けているという。



カスタネットに寄せられた中古文房具の一部と植木社長

またカンボジアまでの船賃約十五万円は、レーザープリンターの使用済みトナーカートリッジを回収し、プリンターメーカーに引き取ってもらうビジネスでカバーした。